

フクビ「マルチデッキ」

施工説明書

このたびは、フクビ製品「マルチデッキ」をお買い上げいただきまして、有難うございました。
下記の施工説明書をよくご確認の上、正しく施工を行ってください。

■ 警告および注意マークについて

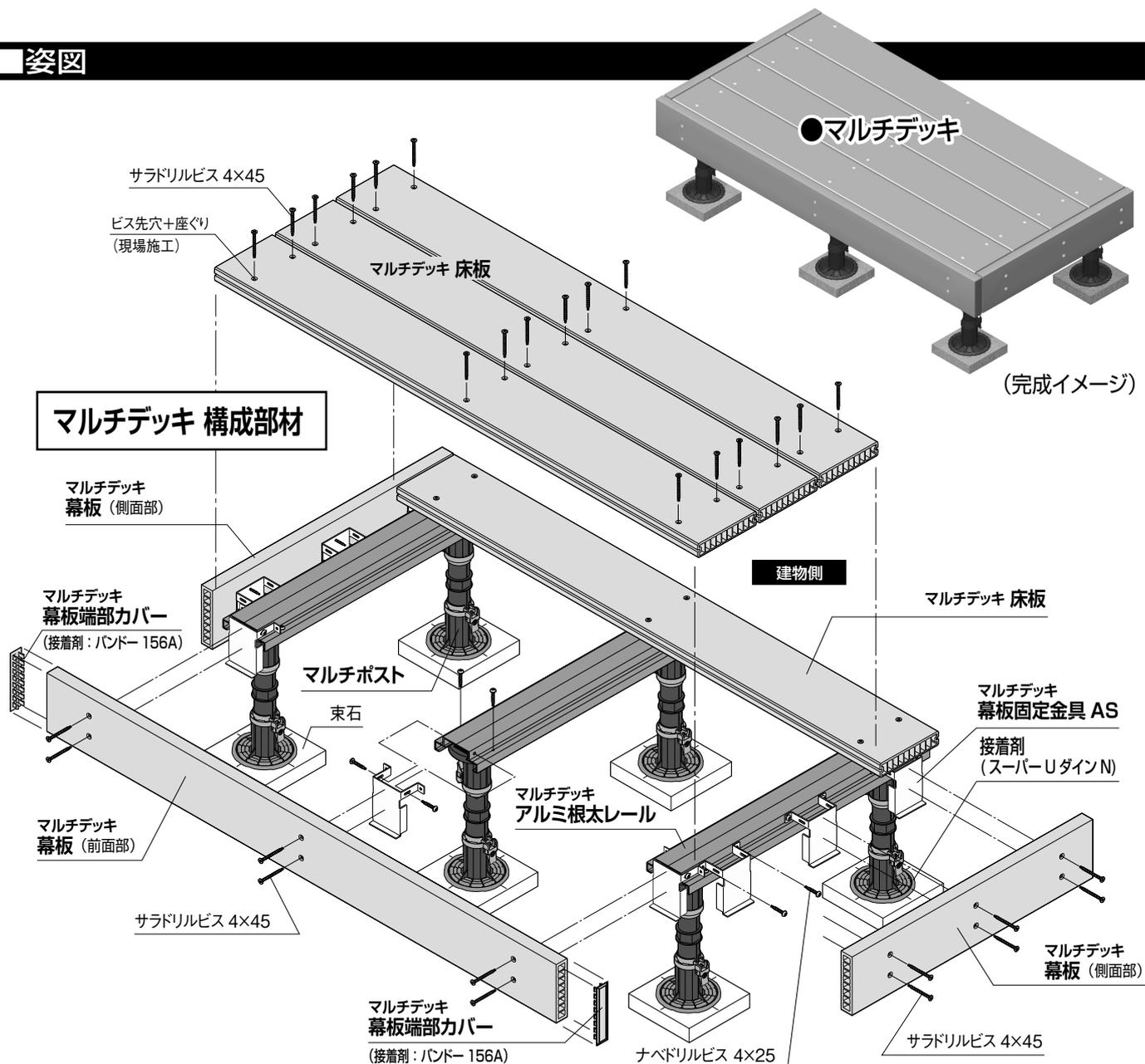
●本施工説明書では「警告」、「注意」を次のような定義で使用しています。
施工前に注意深く読み、よく理解してください。

	警告 誤った取扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性があります。
	注意 誤った取扱いをすると、使用者が傷害を負う可能性、物的損害の発生可能性があります。

■ 設計・施工・安全上の注意

- 警告**
- このデッキは住宅の1階施工用として設計されていますので、それ以外の用途への使用はおやめください。
 - デッキ用途以外への転用や改造は行わないでください。
 - 崖地などの危険な場所に展望デッキとして使用しないでください。
 - 燃料タンクなどの危険物、および給湯器の排気管や排気口など、熱源となる場所の近くには設置しないでください。
 - 人工木は、色目により夏場は温度が上がります。素足での歩行はお避けください。
- 注意**
- 金具や金属部材端部で怪我をしないように、取扱いにはご注意ください。
 - 屋根などから落雪のおそれのある場所には設置しないでください。
 - 指定の部材、オプション品以外は使用しないでください。
 - 施工後、ビス類にゆるみがないかを点検してください。
 - 建物や窓枠との隙間は10mm以上開けてください。
 - 接着剤バンドー156Aは溶剤を含んでいますので、風通しのよい屋外で使用してください。

■ 姿図



マルチデッキ 施工説明書

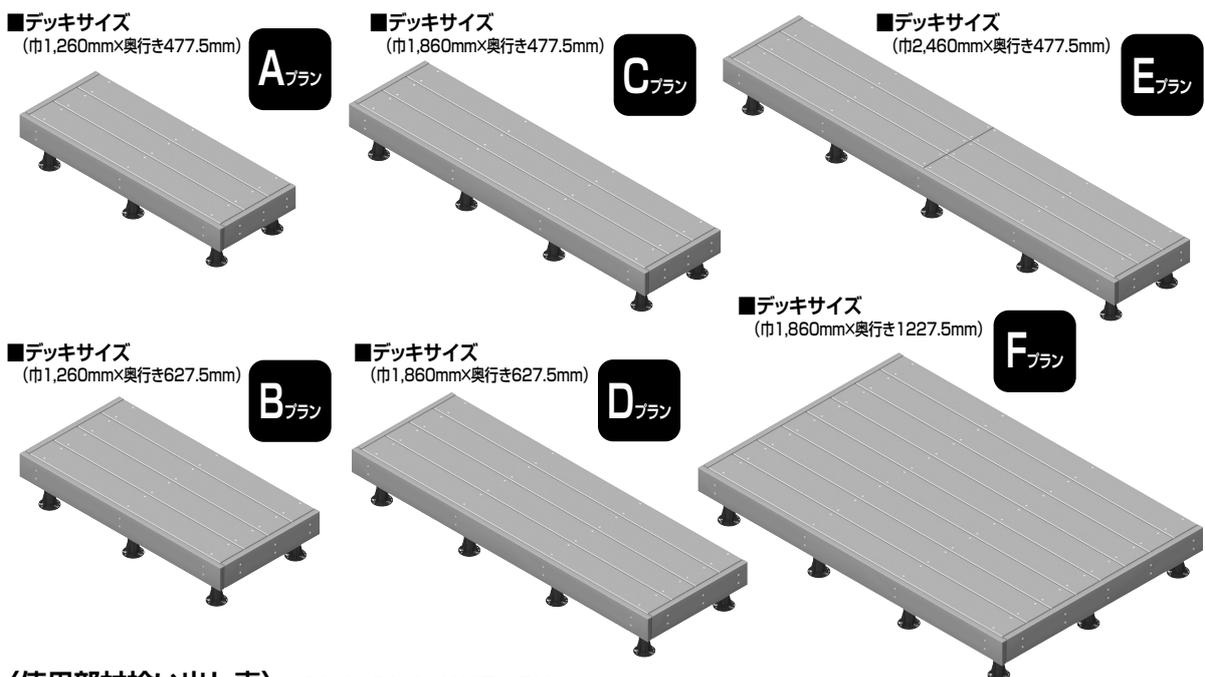
目次

■警告および注意マークについて／■設計・施工・安全上の注意／■姿図・マルチデッキ構成部材	[P.1]
■目次／■プラン例外観イメージと使用部材拾い出し表	[P.2]
■部材一覧 [P.3] ／ ■納まり参考図〈アルミ根太レール間隔の施工可能範囲〉	[P.4]

■施工手順

手順1 マルチデッキのH寸法(床面高さ)の決定	[P.5]	手順5 マルチポスト(支持脚)の固定	[P.9]
手順2 下地処理とマルチポスト(支持脚)の位置出し	[P.5]	手順6 幕板固定金具ASの取付け	[P.9]
手順3 マルチポスト(支持脚)とアルミ根太レールの配置		〈幕板固定金具ASの取付け位置例(間口側面側)〉	[P.9]
〈アルミ根太レール+マルチポスト固定〉	[P.6]	手順7 幕板の取付け	[P.10]
〈アルミ根太レール端部[建物側]〉	[P.6]	〈ビットガイドを使用して幕板を施工する場合〉	[P.10]
〈アルミ根太レール同士のジョイント部〉	[P.6]	手順8 幕板端部カバーの取付け	[P.11]
手順4 マルチポスト(支持脚)の高さ調整		手順9 床板の取付け	[P.12]
〈水準器で調整する場合〉	[P.7]	〈ビットガイドを使用して床板を施工する場合〉	[P.12]
〈レーザー高さ測定器で調整する場合〉	[P.7]	〈アルミアングル(現場調達)を使用して補強する場合〉	[P.12]
〈各種マルチポストのレベル調整方法〉	[P.8]		

■プラン例外観イメージと使用部材拾い出し表



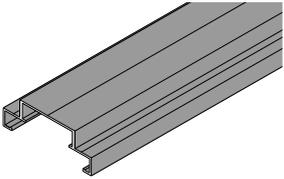
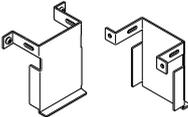
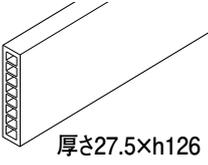
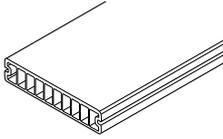
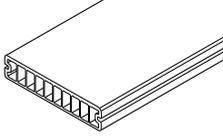
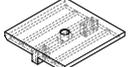
〈使用部材拾い出し表〉 ※OA型～3A型には専用治具はありません。

部材名 (バラ売り部材)	Aプラン	Bプラン	Cプラン	Dプラン	Eプラン	Fプラン
●床板 1795	3枚	4枚	3枚	4枚	6枚	8枚
●アルミ根太レール	3本 (L448)	3本 (L598)	4本 (L448)	4本 (L598)	5本 (L448)	4本 (L1,198)
●マルチポスト※	6本	6本	8本	8本	10本	12本
●ナベドリルビス 4×25	支持脚-根太用 30本 根太-固定金具用 12本 18本	支持脚-根太用 30本 根太-固定金具用 12本 18本	支持脚-根太用 36本 根太-固定金具用 16本 20本	支持脚-根太用 36本 根太-固定金具用 16本 20本	支持脚-根太用 42本 根太-固定金具用 20本 22本	支持脚-根太用 52本 根太-固定金具用 24本 28本
●サラドリルビス 4×45	床板用 36本 幕板用 18本 18本	床板用 42本 幕板用 24本 18本	床板用 44本 幕板用 24本 20本	床板用 52本 幕板用 32本 20本	床板用 58本 幕板用 36本 22本	床板用 92本 幕板用 64本 28本
●スーパーUダイン BK1.5g	1本	1本	1本	1本	1本	1本
●幕板 2460	1本	2本	2本	2本	2本	2本
●幕板固定金具 AS	9個	9個	10個	10個	11個	14個
●幕板端部カバー	2個	2個	2個	2個	2個	2個
●接着剤バンドー 156A (端部カバー用接着剤)	1本	1本	1本	1本	1本	1本
●ビットガイド	1袋 (5個入)					

■部材一覧

●開梱時に種類と数量を確認してください。(取付ビスの袋の内容も確認してください。)

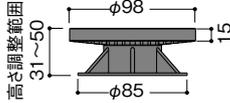
●商品に破損や異常がないか確認してください。

呼称	規格(mm)	姿図
アルミ根太レール	L 448	
	L 598	
	L 1,198	
	L 1,798	
幕板固定金具AS	—	
幕板端部カバー (2個/箱)	—	色: DB LB GY 
幕板2460	L 2,460	色: DB LB GY  厚さ27.5×h126
床板1795	L 1,795	色: DB LB GY  厚さ30×W145
床板2395	L 2,395	色: DB LB GY  厚さ30×W145
ナベドリルビス (100本/箱)	4×25	
サラダドリルビス (50本/袋)	4×45	色: DB LB GY 
接着剤 パンドー156A	—	(端部カバー用接着剤) 
ビットガイド (5個/袋)	—	色: 透明 ※床板位置決め用 (5mm目地巾) 

呼称/規格(mm)/姿図

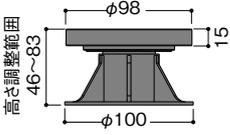
※ご希望の高さに合わせてマルチポストをお選びください。

●0A型・1A型



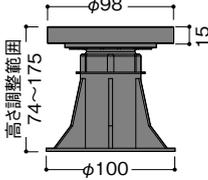
高さ調整範囲
31~50

●2A型・3A型



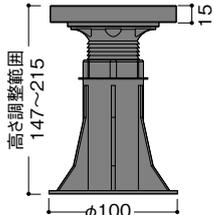
高さ調整範囲
46~83

●4A型~6A型



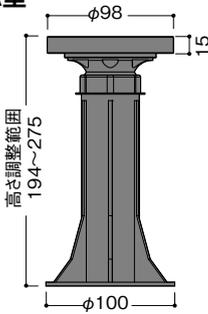
高さ調整範囲
74~175

●7A型



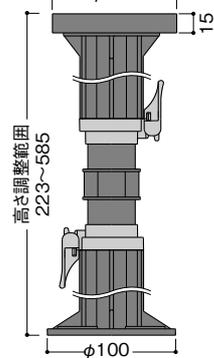
高さ調整範囲
147~215

●8A型



高さ調整範囲
194~275

●305型
~575型



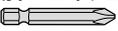
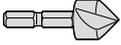
高さ調整範囲
223~585

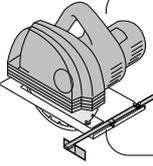
呼称	高さ(H)調整範囲	床高調整範囲	マルチポスト専用治具
0A型	31~40	81~90	—
1A型	36~50	86~100	
2A型	46~63	96~113	
3A型	59~83	109~133	
4A型	74~102	124~152	
5A型	97~146	147~196	
6A型	124~175	174~225	
7A型	147~215	197~265	
8A型	194~275	244~325	
305型	223~310	273~360	
445型	295~450	345~500	
575型	420~585	470~635	

呼称	規格(mm)	姿図
スーパーUダイブBK (接着剤)	1kg	

《組み立て・施工に必要な道具》 ※別途ご用意ください。 ●水準器またはレーザーレベラー

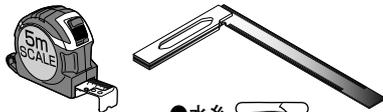
●電動ドライバー (インパクトドライバーをお勧めします。)

- ねじ止め用(プラス) #2 
- 鉄鋼用ドリルφ3.5mm(下穴用) 
- 幕板・床板用
面取りカッターφ12mm 

●丸鋸 

デッキ材のカット

- 木工用電気鋸(または手鋸)
- アルミ材(根太レール)のカット
- 金属加工用電気ノコ

●メジャー / ●直角を計れる定規(曲尺等) 

●墨壺 

●水糸 

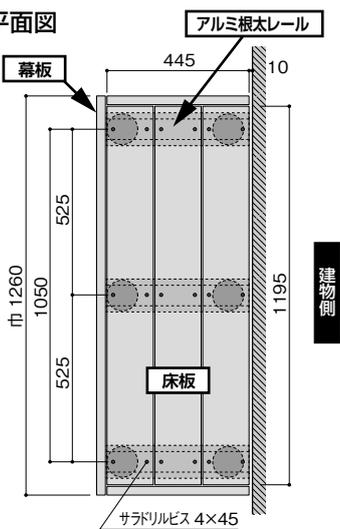
●軍手・皮手袋等

※水糸を張る場合、
適宜必要資材を
ご用意ください。

■納まり参考図

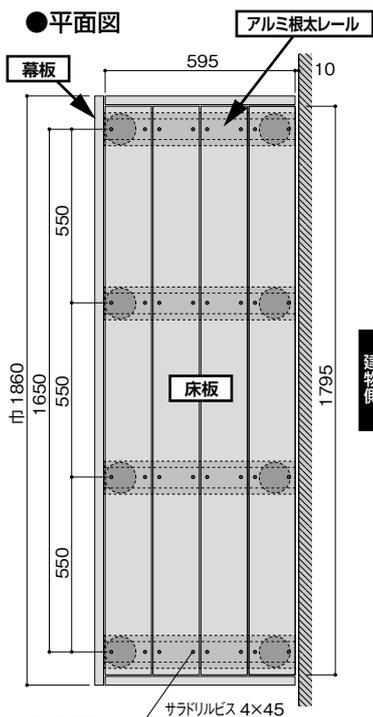
Aプラン デッキサイズ
(巾1,260mm×奥行き477.5mm)

●平面図



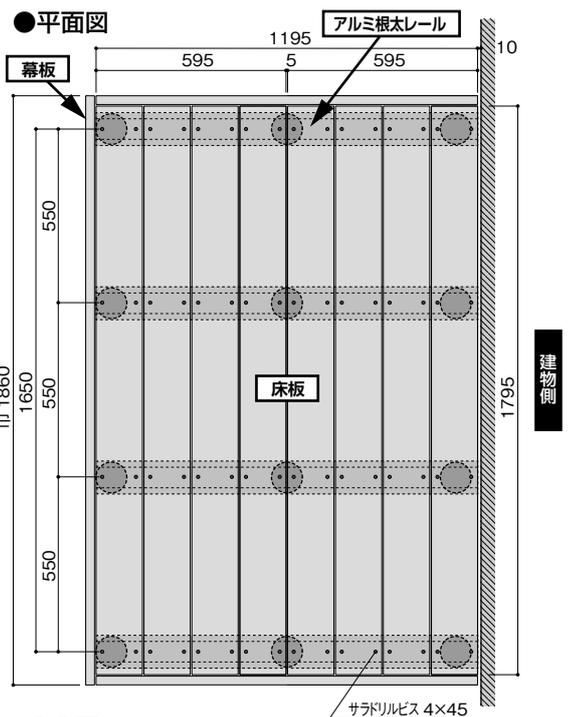
Dプラン デッキサイズ
(巾1,860mm×奥行き627.5mm)

●平面図



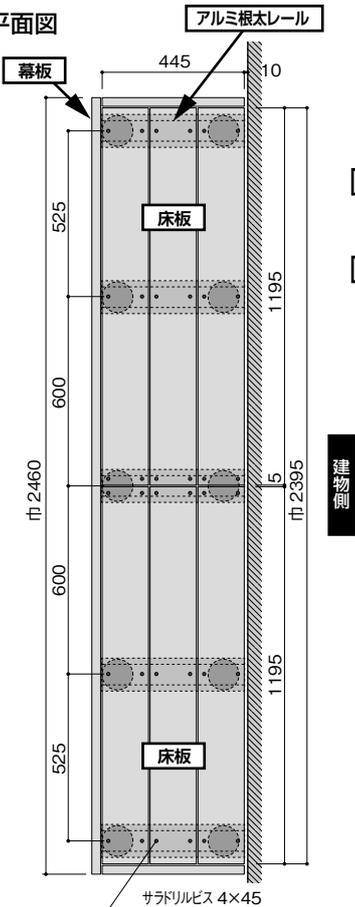
Fプラン デッキサイズ
(巾1,860mm×奥行き1227.5mm)

●平面図

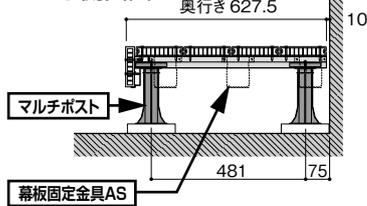


Eプラン デッキサイズ
(巾2,460mm×奥行き477.5mm)

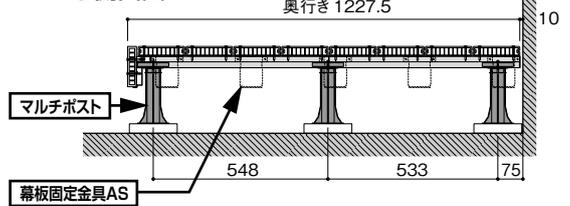
●平面図



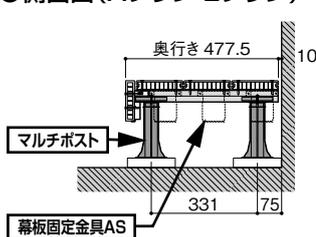
●側面図



●側面図

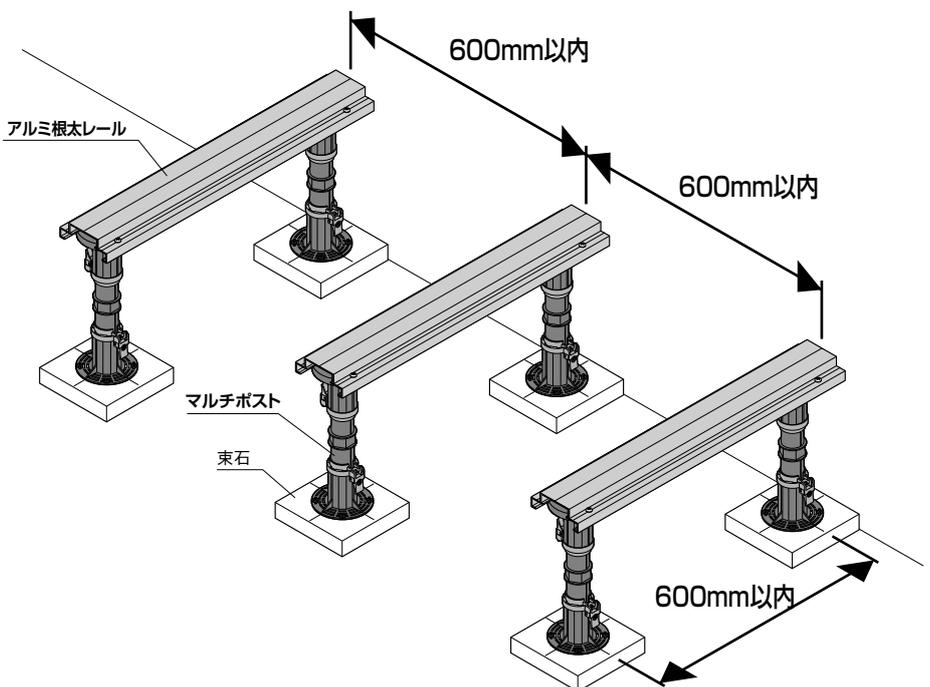


●側面図(Aプラン・Eプラン)



〈アルミ根太レール間隔の施工可能範囲〉

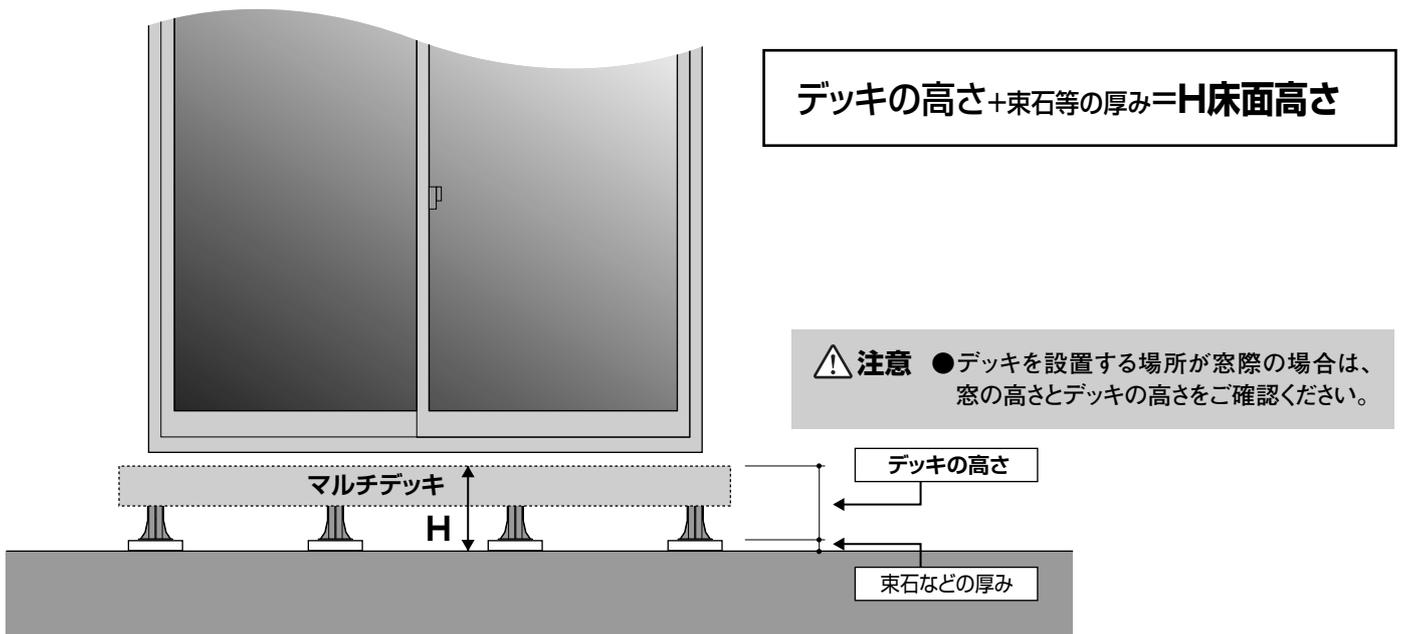
- アルミ根太レールの間隔は600mm以内としてください。
- アルミ根太レール線上のマルチポストの間隔は600mm以内としてください。



■施工手順

手順1 マルチデッキのH寸法(床面高さ)の決定

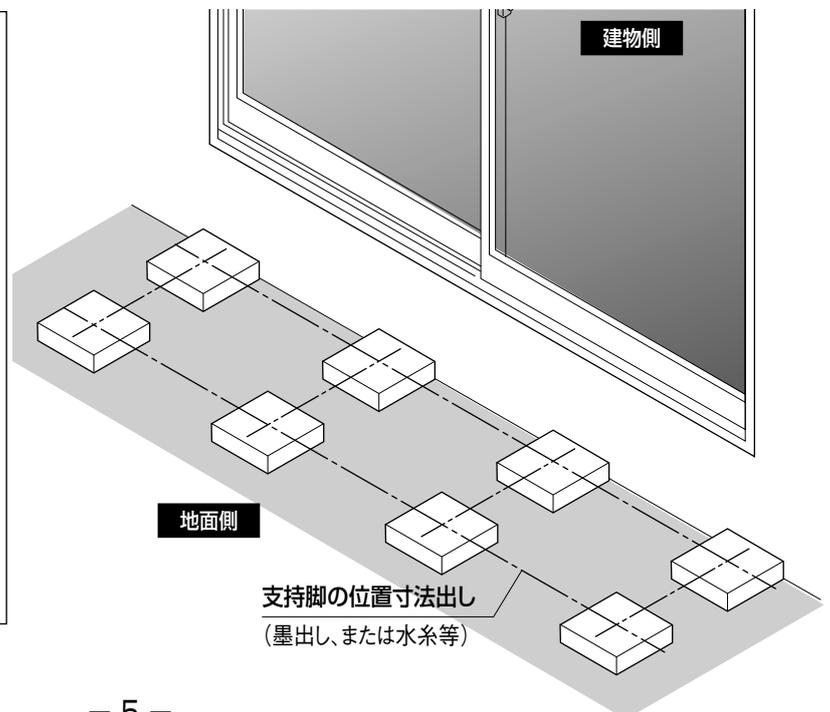
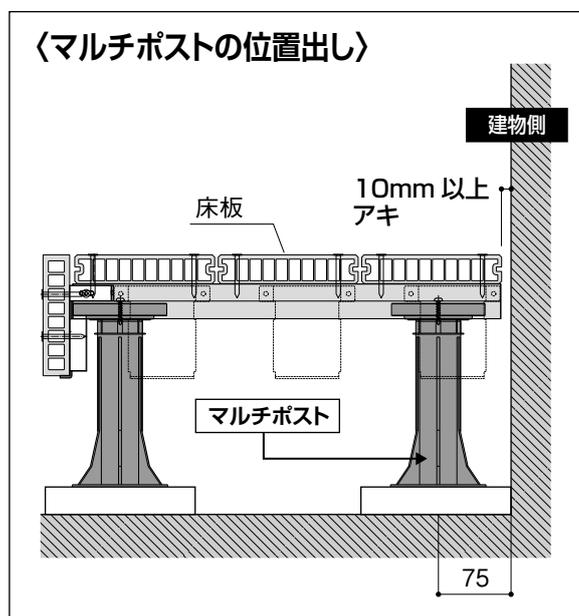
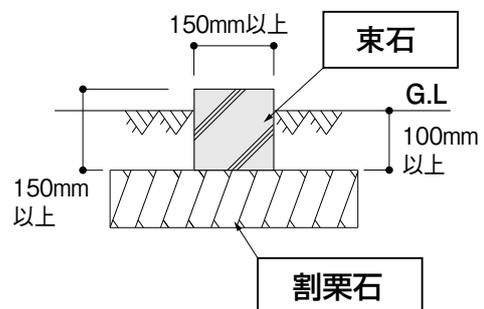
- マルチデッキを設置する場所、デッキの床高さをご確認ください。



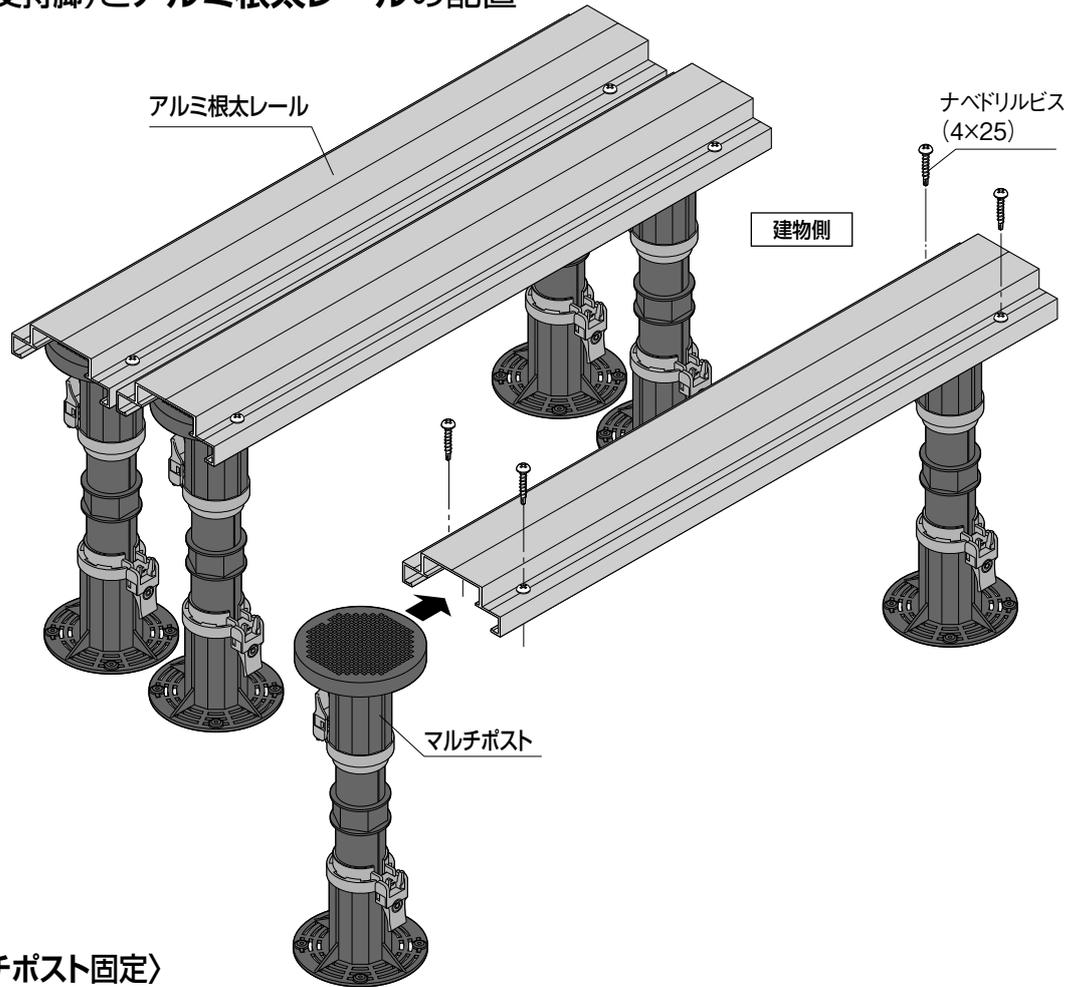
手順2 下地処理と マルチポスト(支持脚)の位置出し

- P.4参考納まり図に従って(束石の場合は天端に)、マルチポスト(支持脚)の位置を割り出し、墨出し、水系等で寸法出しをして位置を決めてください。

- 注意 ●デッキ完成時、建物側より10mm以上アキができるように支持脚の位置取りをしてください。

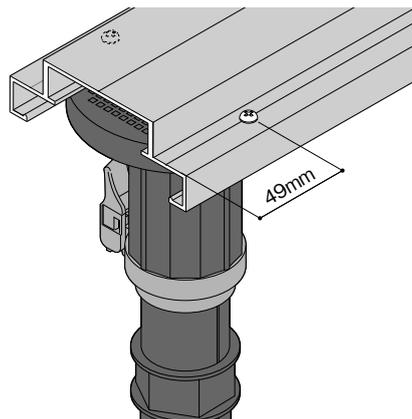
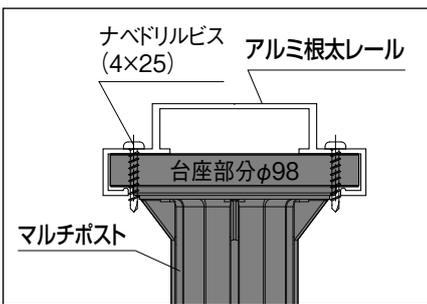


手順3 マルチポスト(支持脚)とアルミ根太レールの配置



〈アルミ根太レール+マルチポスト固定〉

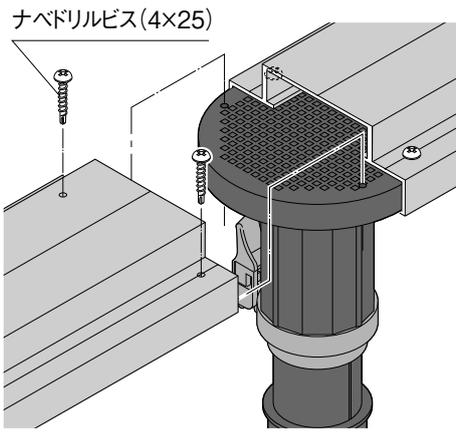
- マルチポストを接着固定する前に、アルミ根太レールにマルチポストの台座部分をスライド挿入させて端面合わせで位置決めを行います。
- 位置決めしたら、ナベドリルビス4×25でマルチポスト1本当たり2箇所留め付けます。



つなげて使用する場合

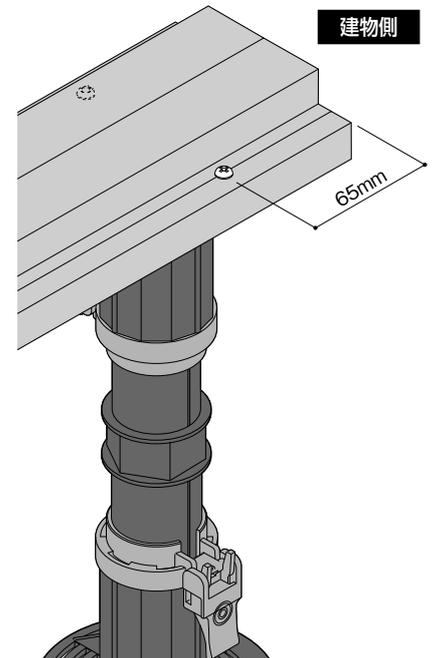
〈アルミ根太レール同士のジョイント部〉

- アルミ根太レール同士のジョイントは必ずマルチポストの天面中央としてください。
- 1本のマルチポストに対して、ナベドリルビス(4×25)4本で根太を固定してください。



〈アルミ根太レール端部【建物側】〉

- 建物側とのスキマ10mmを確保するため、マルチポストの台座部分ビス留め位置を端部より65mmの位置とします。

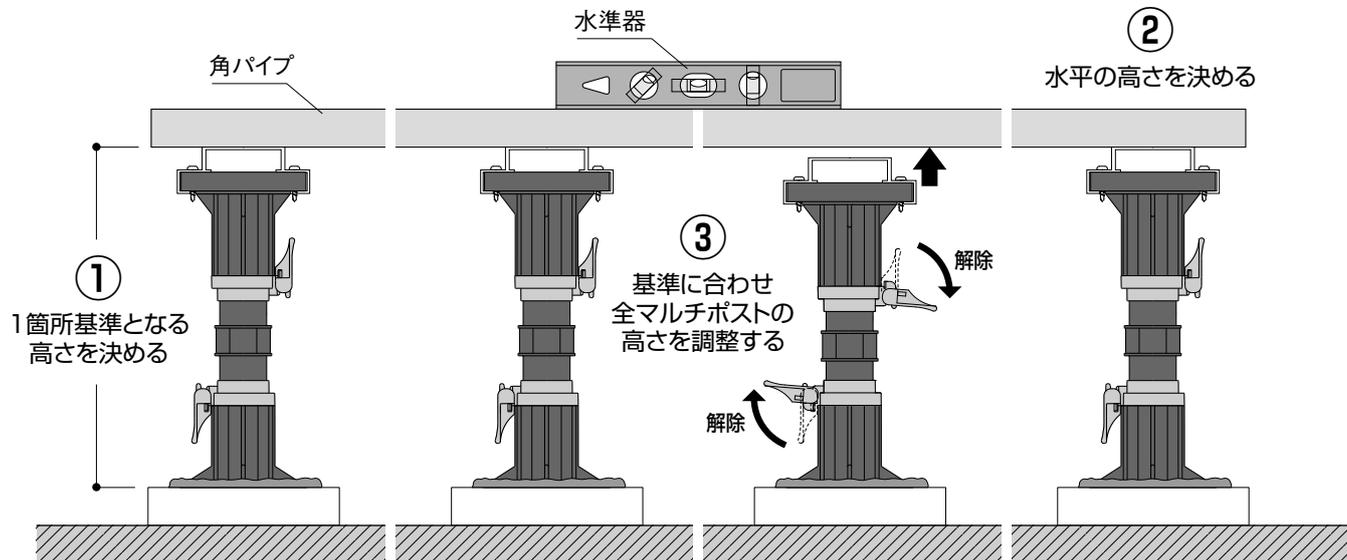


手順4 マルチポスト(支持脚)の高さ調整

●マルチポストにアルミ根太レール天端で水平レベルを取りながら支持脚の高さを調整してください。

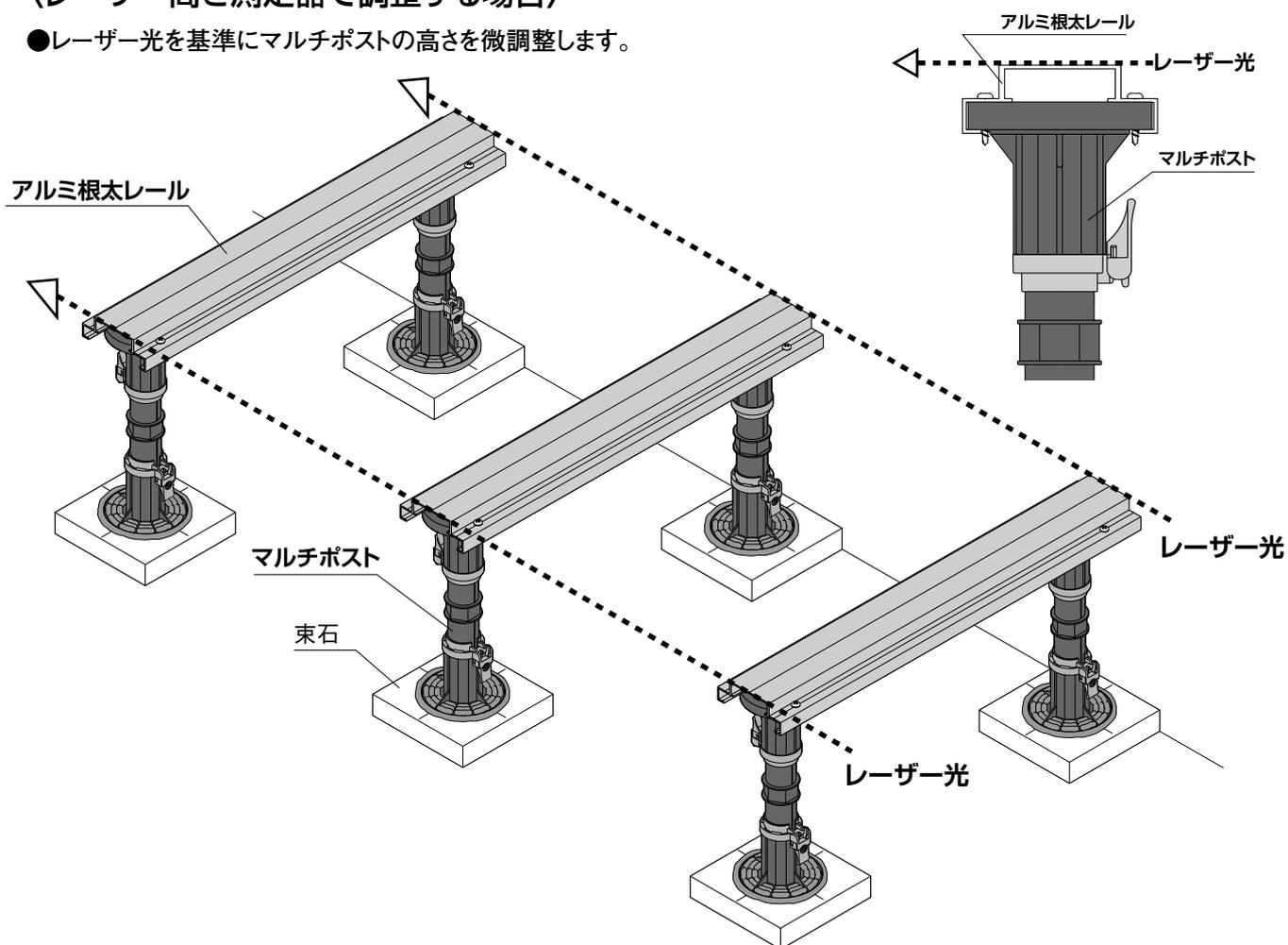
〈水準器で調整する場合〉

●角パイプなど真っ直ぐな形状のものを乗せ、水準器で水平を確認しながらすべてのマルチポストの高さを微調整します。



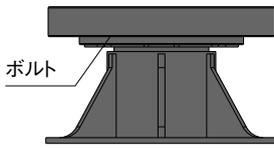
〈レーザー高さ測定器で調整する場合〉

●レーザー光を基準にマルチポストの高さを微調整します。



〈各種マルチポストのレベル調整方法〉

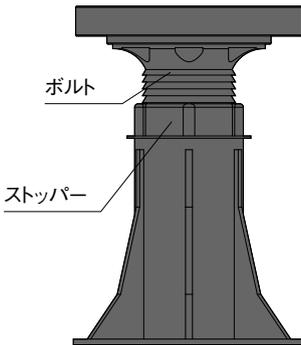
● 0A型～3A型



① マルチポストのボルトを回して高さを調整してください。

⚠ **注意** ●安全のため、床高さ調整範囲内で施工してください。

● 4A型～8A型



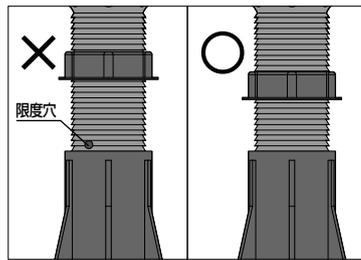
① マルチポストのボルトを回して高さを調整してください。〈図A〉

⚠ **注意** ●安全のため、床高さ調整範囲内で施工してください。

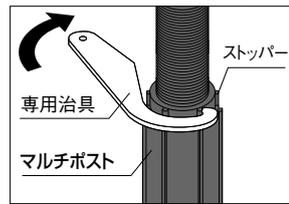
② レベル調整後、ストッパー締め治具でストッパーをしっかりと締め付けて固定してください。〈図B〉

⚠ **注意** ●ストッパーは必ず専用治具で締め付けてください。しっかり締めないと、床鳴りの原因となります。

〈図A〉 ※限度穴が見えない状態にしてください。

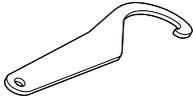


● ストッパー締め 〈図B〉

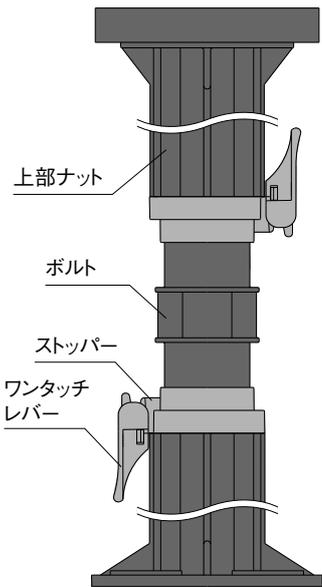


※作業終了後、ボルトが回らないことを確認してください。

● 専用治具



● 305型～575型



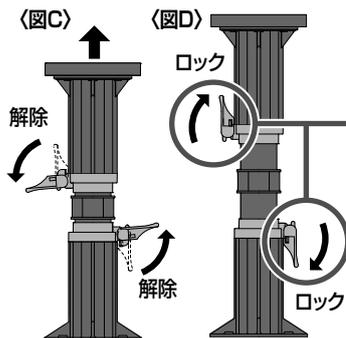
① ストッパーのワンタッチレバーを解除し、上部ナットを軽く押さえながら、ボルトを手で回して高さを調整してください。〈図C〉

⚠ **注意** ●安全のため、最大高さ以上に伸ばせない仕様となっています。

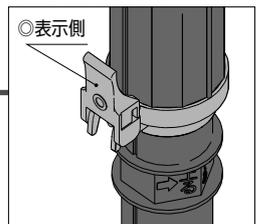
② レベル調整後、専用治具でボルトを回してしっかりと固定してください。〈図F〉

⚠ **注意** ●破損を防ぐため、必ずワンタッチレバーを解除した状態でボルトを回してください。

③ ストッパーとワンタッチレバーは連動します。高さ位置が決定したらワンタッチレバーで○表示が見える方向にロックしてください。〈図D〉 〈図E〉



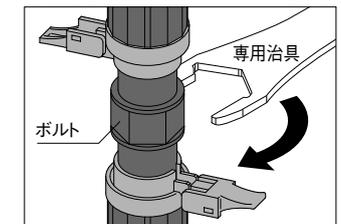
● ストッパー締め 〈図E〉



※ワンタッチレバー裏面側の×印が見える場合はロックされていないので、ご注意ください。

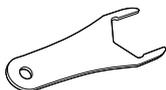
〈設置後の高さ調整が可能〉

● ボルト締め 〈図F〉



※マルチポストのストッパーを外して中央のボルト(ターンバックル部)を回せば、施工後も高さ調整が可能です。

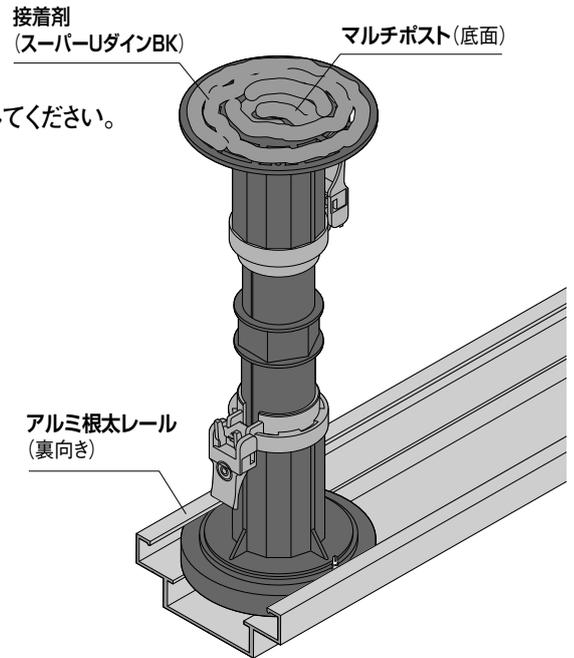
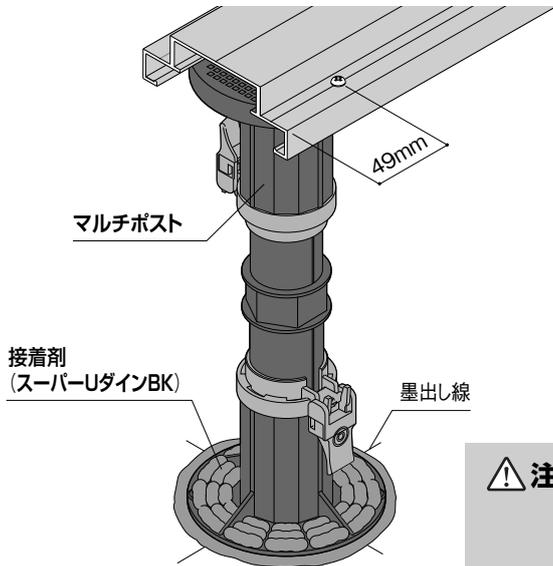
● 専用治具



■施工手順

手順5 マルチポスト(支持脚)の固定

- 下地の清掃をおこなってください。
- マルチポストを取り付けたアルミ根太レールを逆さまにし、底面に接着剤を塗布してください。
- 接着剤の塗布量はマルチポスト1本当たり70~80gとしてください。
- 接着後は1日以上養生してください。



- ⚠ 注意**
- マルチポスト底面外周部孔部から接着剤がはみ出すまで床面に押し付け、接着剤が行き渡るようにします。
 - 接着後、乾燥具合の確認を行ってください。

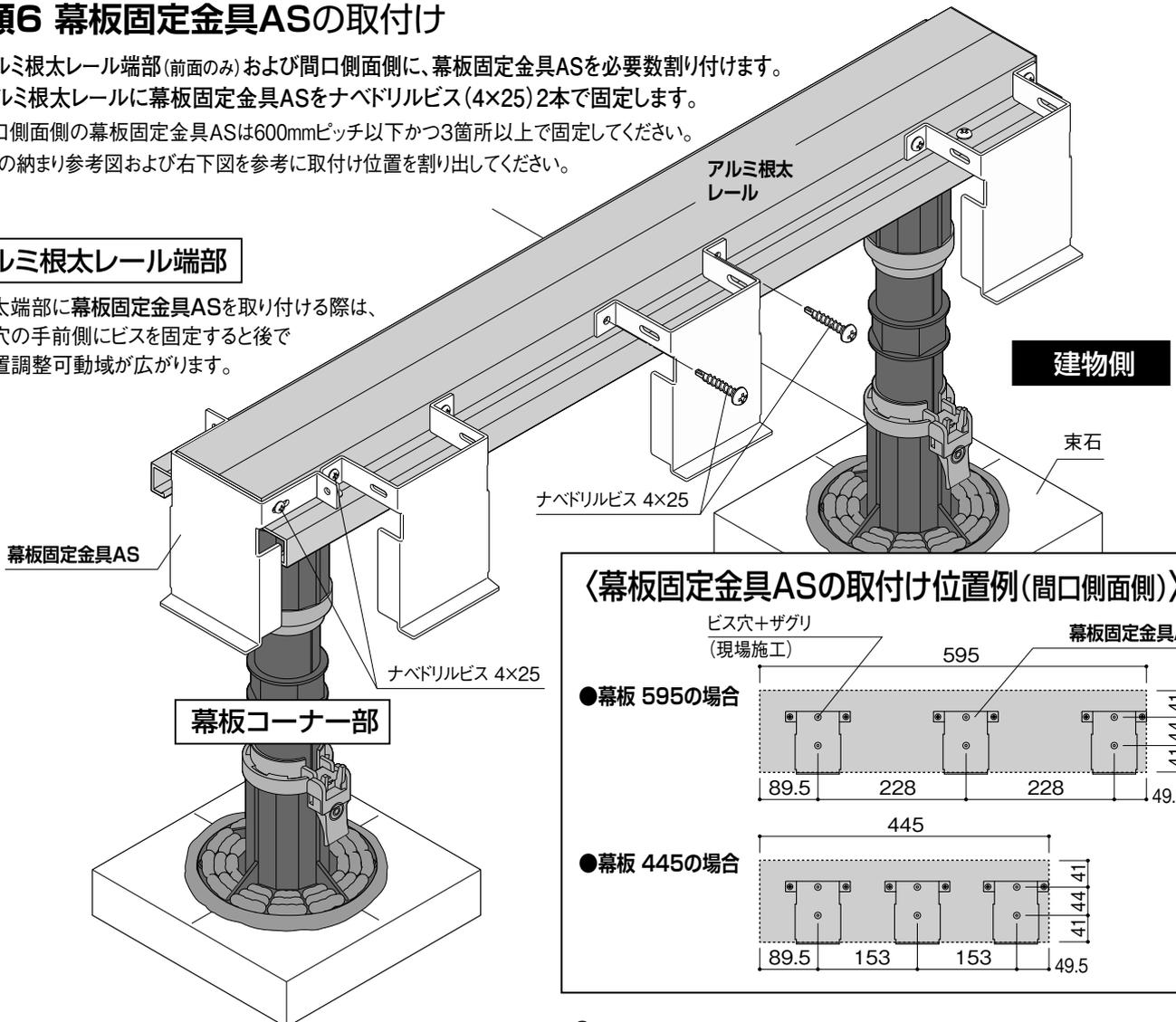
アルミ根太レール端部【建物側】

手順6 幕板固定金具ASの取付け

- アルミ根太レール端部(前面のみ)および間口側面側に、幕板固定金具ASを必要数割り付けます。
 - アルミ根太レールに幕板固定金具ASをナベドリルビス(4×25)2本で固定します。
- ※間口側面側の幕板固定金具ASは600mmピッチ以下かつ3箇所以上で固定してください。
 ※p.4の納まり参考図および右下図を参考に取付け位置を割り出してください。

アルミ根太レール端部

※根太端部に幕板固定金具ASを取り付ける際は、長穴の手前側にビスを固定すると後で位置調整可動域が広がります。

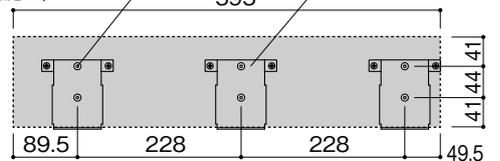


幕板コーナー部

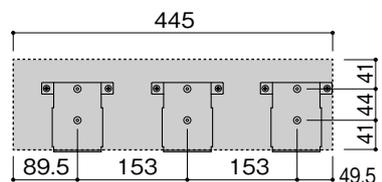
〈幕板固定金具ASの取付け位置例(間口側面側)〉

ビス穴+ザグリ (現場施工) 幕板固定金具AS

●幕板 595の場合



●幕板 445の場合



手順7 幕板の取付け

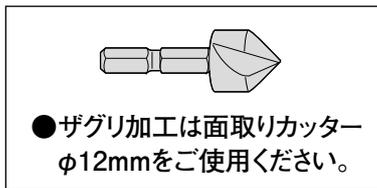
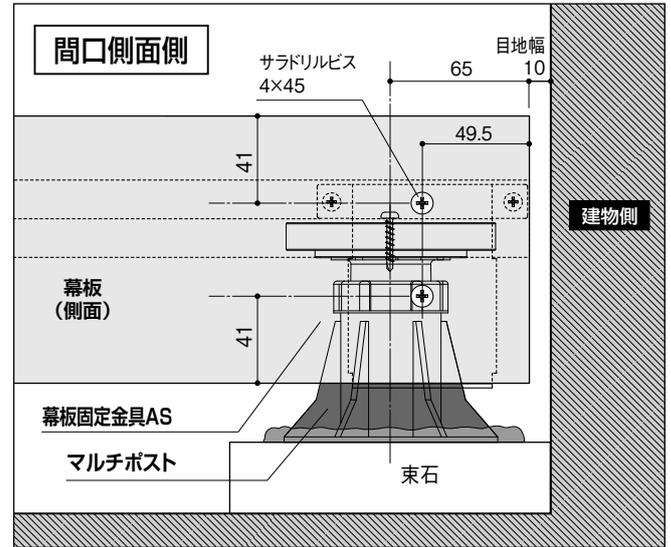
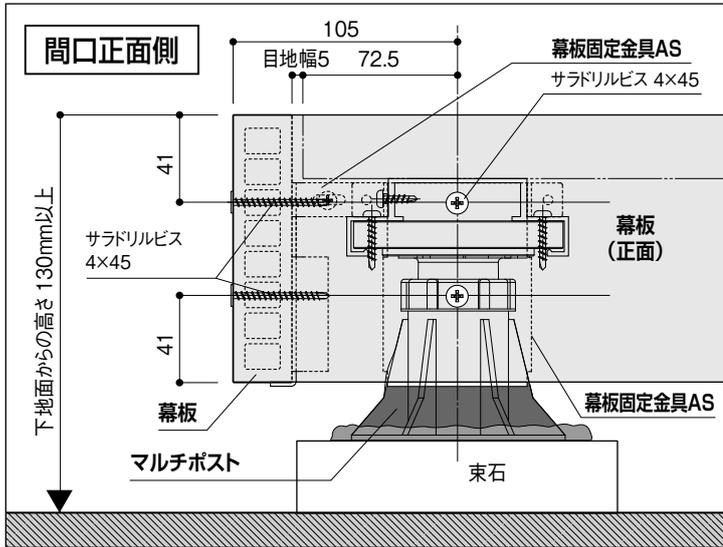
● 所定の長さに幕板を切断し設置位置を決定したら、φ3.5で下穴を開け、φ10程度の皿頭用ザグリ加工をおこない、サードリルビス4×45 2本で固定します。幕板固定金具にも幕板の下穴位置を通して、φ3.5の下穴を開けてください。

※ 幕板同士のジョイント目地は、ビットガイドを使用するなどして目地幅5mmを確保してください。

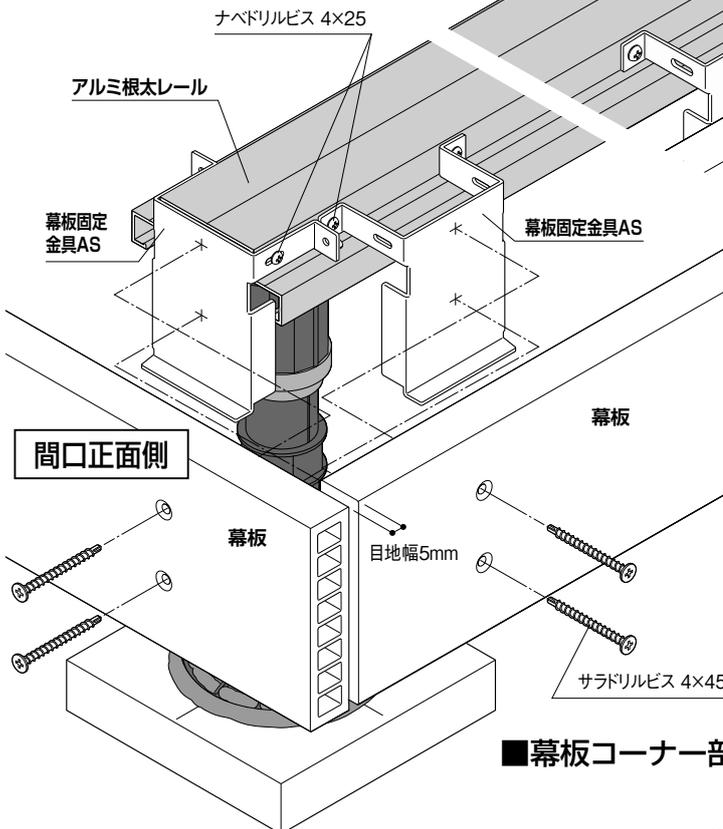
※ 幕板の取付けビスピッチは600mm以下、製品端部から20mm以上離してください。

※ 下地面からの高さが130mm以上でないと幕板が留め付けられません。

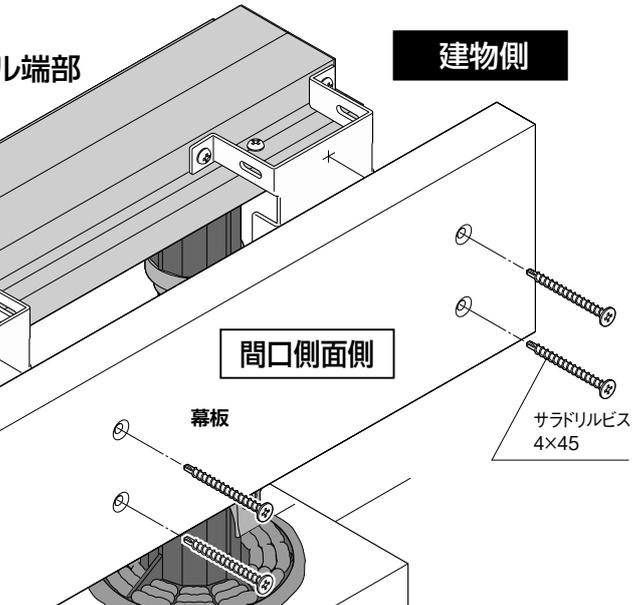
注意 ● 電動ドライバーはゆっくり、弱めで穴開けをおこなってください。下穴を大きく開けるとビスが利かなくなる恐れがあります。



■ アルミ根太レール端部



■ 幕板コーナー部

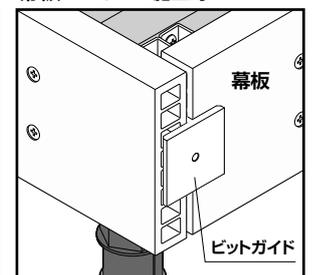
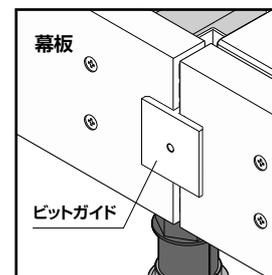


〈ビットガイドを使用して幕板を施工する場合〉

● 〈幕板-幕板施工〉〈幕板コーナー施工〉において、ビットガイドを使用すると便利です。

幕板-幕板 施工時

幕板コーナー 施工時



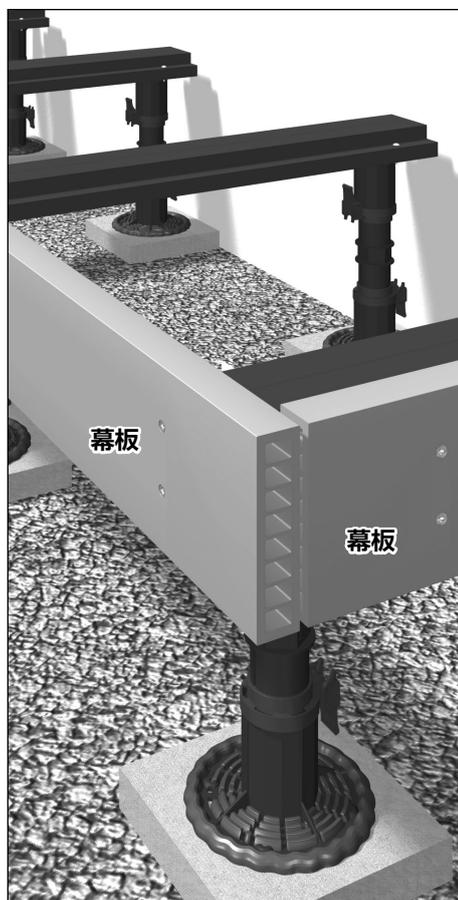
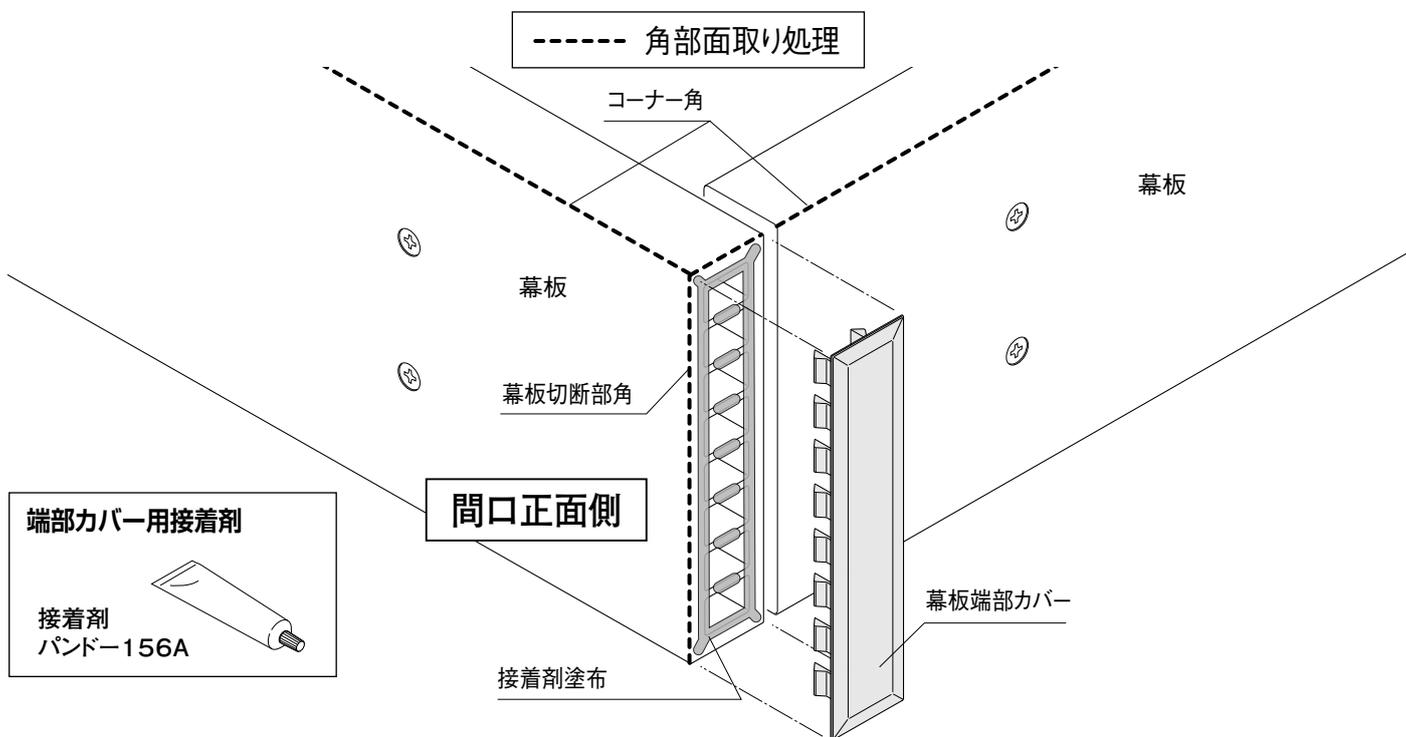
■施工手順

手順8 幕板端部カバーの取付け ※安全のため、幕板切断部角およびコーナー角をサンドペーパーなどで軽く面を取ってください。

●端部カバー用接着剤を間口正面側の幕板左右端部の小口に塗布(下図参照)し、幕板端部カバーを取付けます。

※接着剤がはみ出た場合は、接着剤が硬化してから取り除いてください。

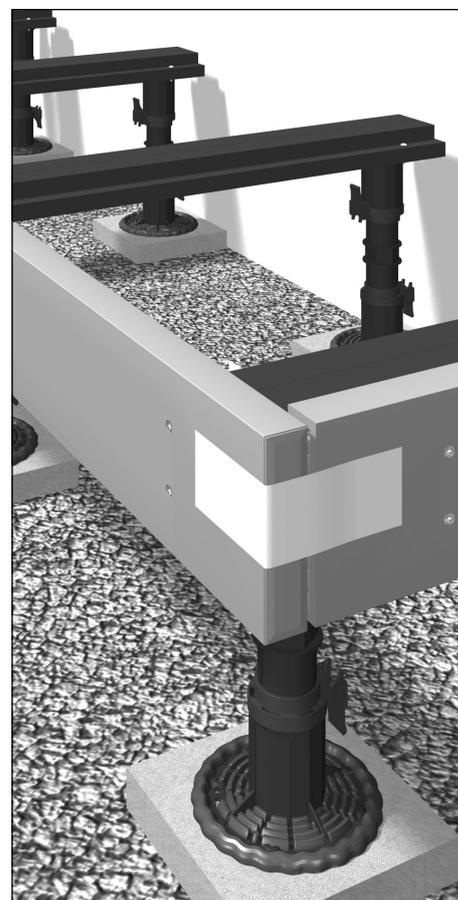
●幕板端部カバーは幕板小口面からはみ出さないように取付けてください。



①取付け小口に接着剤を塗布



②幕板端部カバーを取付け



②仮止めテープなどで養生する

手順9 床板の取付け

●アルミ根太レールセンターに合わせ、床板に(右下図参照)ドリルにてφ3.5で下穴を開け、φ10程度の皿頭用ザグリ加工をおこない、サラドリルビス4×45で床板を留め付けてください。

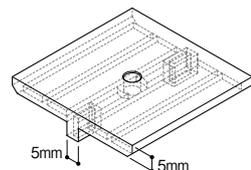
※床板-床板、床板-幕板、幕板-幕板間には必ず5mmのスキマをあけてください。下記ビットガイドを使用すると便利です。

ビットガイドを使用して床板を施工する場合

●ビットガイドを都度はさむことで、幕板-床板間、床板-床板間の5mm隙間を確保でき便利です。

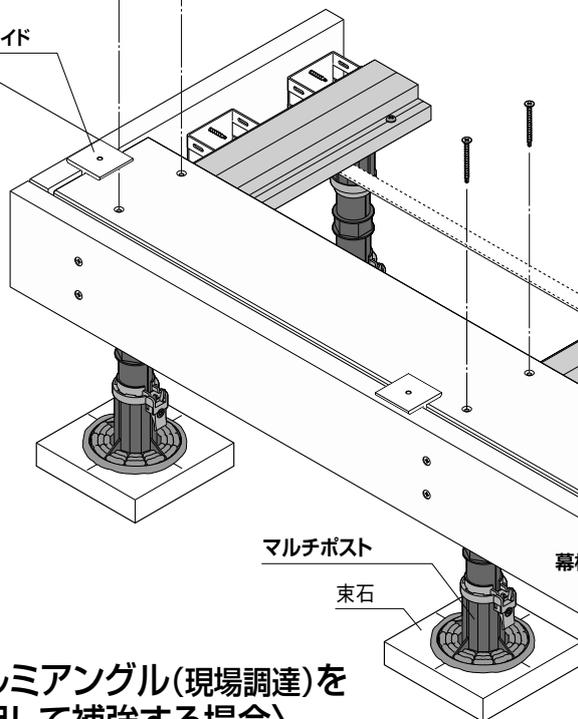
ビットガイド(5個/袋)

※床板位置決め用(5mm目地巾)

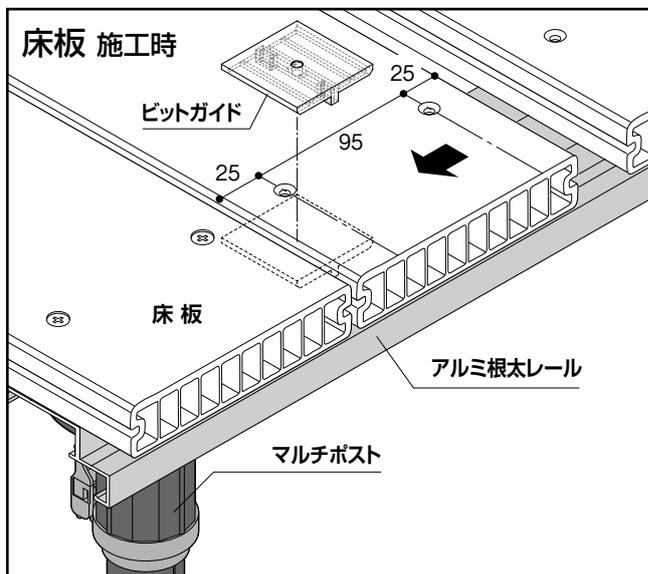


サラドリルビス
4×45

ビットガイド



床板 施工時



アルミ根太レール

床板

マルチポスト

束石

幕板

補強用
アルミLアングル(現場調達)

幕板

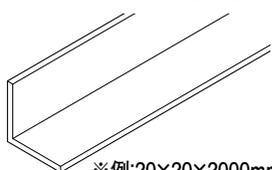
〈アルミアングル(現場調達)を使用して補強する場合〉

●床高が高く、揺れが気になる場合は、アルミアングル材などで適宜補強してください。

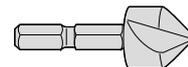
⚠ 注意

●必要に応じてアルミアングル(現場調達)を使用し、ナベドリルビス4×25を使用してアルミ根太レール下部に留め付け、マルチデッキを補強することができます。

アルミLアングル(現場調達)



※例:20×20×2000mm



●ザグリ加工は面取りカッターをご使用ください。